

かすが



すべての子どもが 仲間とともに いきいきと学べる 春日小学校

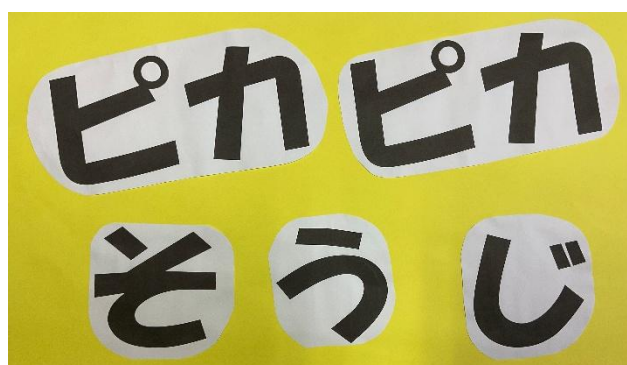
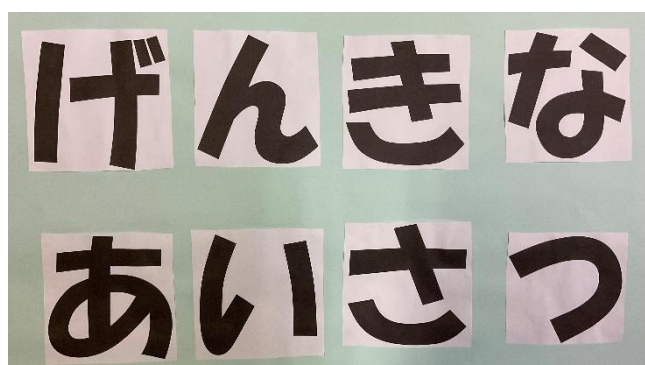
2学期が、はじめました！

それぞれの教室で子どもたちの元気な声が響き、学校に活気が戻ってきました。2学期も、子どもたち一人ひとりが「**自分のベスト**」を尽くせるよう、毎日の学習活動や学校行事等に取り組んで参りますので、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

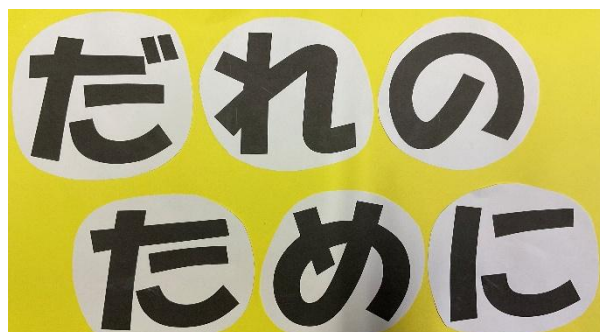
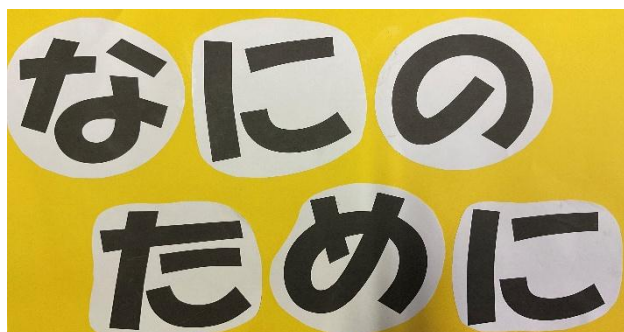
さて、始業式で校長からの話では、次のことを子どもたちに伝えました。1学期にも伝えていることですが、2学期が始まるにあたって改めて全体で確認しました。



- ① これまで取り組んできたことを、これからも続けていきましょう！でも・・・

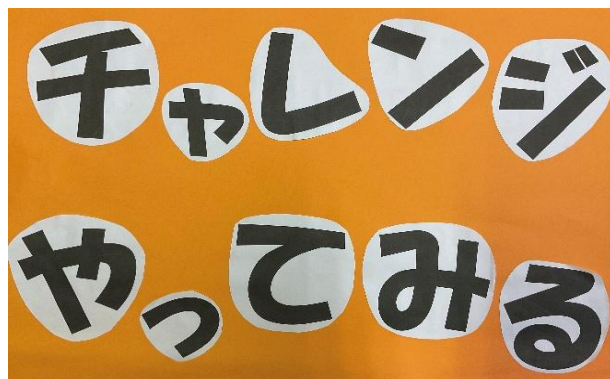
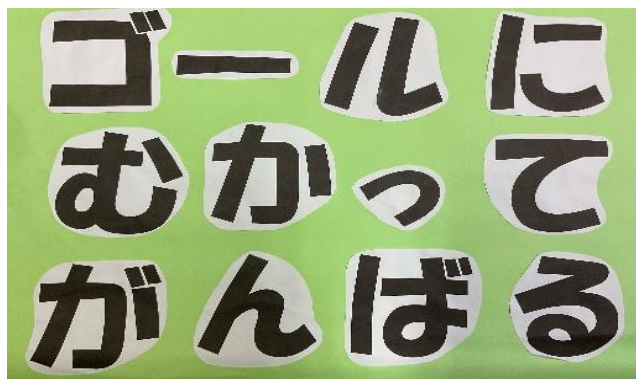


「今までやってきたから・・・」ではなく、「何のために、誰のためにげんきにあいさつをするのか？」「何のために、誰のためにピカピカそうじをするのか？」を、子どもたちと、改めて確認しました。させられる」のではなく、また、「みんながしているから」ではなく、自分が、自分たちがしていることの意味を理解し、そして、自ら進んすることを大切にし、実行してほしいと思います。

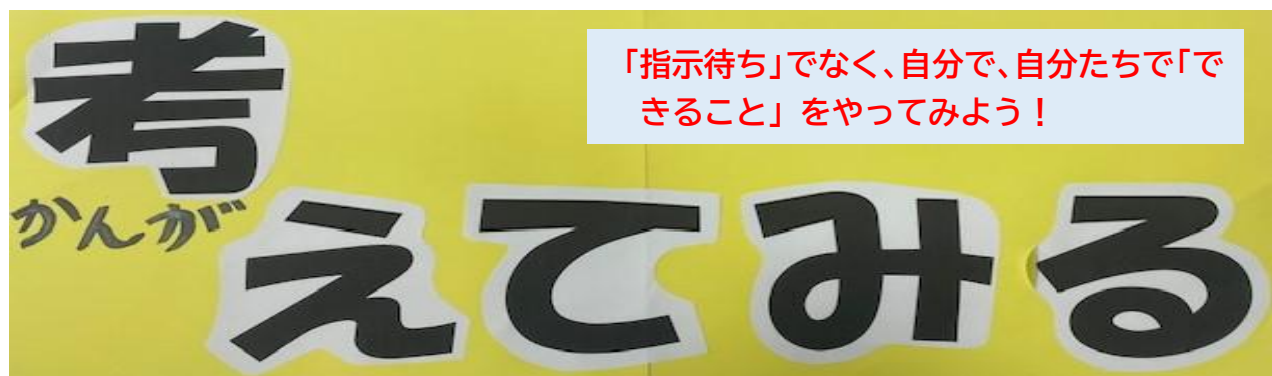


2学期は、レベルを一段あげて「目的意識」をはっきりとをもって取り組んでいきましょう！

- ② ゴール（目標・めあて）がはっきりしていると、そこに向かって頑張る自分たちの「良さ」を発揮しよう！



苦手なことやしんどさに臆せず、いろいろなことに「チャレンジする」「やってみる」子どもたちを先生たちは応援します！あいさつやそうじだけでなく、毎日の学習や仲間や友だちとの活動等、学校生活のすべてにあてはまります。「みんなで」も「じぶんで」の両方が大切です。一人ひとりの「がんばり」を学校でも家庭でも支え、応援していきましょう！



9月中旬から、**10月10日（土）**に行われる運動会に向けた取組が始まります。高学年は、演技や競技だけでなく、各自が役割を持って学校全体のために動く係活動にも取り組みます。

そこで、子どもたちには、運動会での演技や競技等は、**何のために取り組むのか？**ということを考えてもらいたいと思っています。

「仲間とともに協力して取り組んでいくこと」「しんどくても最後まで頑張りぬくこと」等の意義を仲間や先生と一緒に考えて実行していきましょう！

「とくいなこと、にがてなこと」は誰にでもあることです。指導する先生たちは、できないことや失敗したことを叱ることはしません。やりもしないであきらめたり、頑張っている人を笑ったり邪魔したりするときに叱ります。

させられる運動会ではなく、**自分から進んで頑張る運動会**にしていきたいと思います！

それぞれが自分の目標をもって取り組んで、「がんばれた」「できた」と達成感、充実感を自分なりに実感し、これから先の成長につなげていこう！

どうぞ、よろしくお願いします！

育児休暇に入った先生の代わりに新しい先生が春日小学校に来られました。5年生を中心にかかわりますが、他の学年の子どもたちも含めて、一緒に頑張っていきたいと思います。子どもたちから「お願いします」の言葉とあたたかい拍手がありました。



2学期初日の教室では…

先生の話真剣に聞く子どもたち。クラスの仲間と夏休みの思い出を話す子どもたち。楽しいときも、苦しいときも、仲間とつながり、力を合わせて有意義な時間が過ごせる学年・クラスにしていきましょう！「夏休みすごろく」「夏休みビンゴ」ゲームをしながら、思い出を楽しく語り合うクラスもありました。クラスの仲間のいろいろな話を聞きあい楽しそうな子どもたちの姿もありました。今日、お休みをしていた仲間の話も、別の時間に聞けたらいいですね♪



2学期もドリルを使って、漢字や計算等の練習をたくさんしましょう！**くり返し大事** 🌸

「見えない学力」こそ、最もつけさせたい「力」です

「学力向上」という言葉は、国語や算数等「点数」を上げることだと「見える学力」だけがクローズアップされがちです。しかし、「学力」は「点数」だけで決まりません。相手を思いやる行動をしたり、自分の考えを相手に伝えるなどの「コミュニケーション能力」、困難なことにもあきらめずに取り組む「チャレンジする力」等の「見えない学力」も大切であり、むしろ、子どもたちの10年後、20年後、つまり、社会人として仕事をする子どもたちの姿を想像したときに、これらの「見えない学力」の方が重要だと思っています。

大阪市立大空小学校の初代校長、木村泰子先生は「見えない学力」には「4つの力」が必要だと話しています。

人を大切にする力・自分の考えを持つ力・自分を表現する力・チャレンジする力

「あいさつをしましょう」「思いやりの心をもって、人に接しましょう」「自分の考えや気持ちを自分の言葉で伝えましょう」「苦手なことにもあきらめずにチャレンジしましょう」等、子どもたちは、学校生活のあらゆる場面でこれらのメッセージを伝えられています。

今年度、子どもたちが、自分で、自分たちで考えて取り組めるようになってほしいという願いをもって、各学年での取組を進めています。大切にしたいことは「自立・自律」です。大人の指示を待つだけでなく、誰かにやってもらうだけでなく、「自分で、自分たちで出来ることは何か？」を考え、子ども同士で協力して学習活動に取り組んでほしいと考えています。

子どもたちが、一人の人間として成長していけるよう、これからもともに見守り、育んでいきましょう。



じりつへの第一歩： 自分から動くための 「こころ」の持ち方



なにのために？ （目的意識）

その行動によって何を実現しようとしているのか、目的をはっきり持ちましょう。



だれのために？ （対象の明確化）

自分の行動が誰の役に立ち、誰を笑顔にするのかを意識することが大切です。



「なぜ」を 自分で納得する

「叱られるから」「みんながしているから」ではなく、自分自身の理由を見つけて取り組みましょう。



チャレンジ やってみる！

失敗を恐れずに新しいことへ踏み出し、自分で決めたゴールに向かって努力を続けましょう。